

# 高砂元気プロジェクト

現代ビジネス学部 現代ビジネス学科  
松本 茂樹 教授

【協力先】  
高砂商工会議所 他

時田彪我 (3年) 足立唯斗 (3年) 森田慎二郎 (3年)  
豊川隼勢 (3年) 中田浩明 (3年) 沢地信幸 (3年)

## 目的

高砂市等で、地域創生に寄与するPBLを進めます。主に、高砂市において高砂市役所、高砂商工会議所、高砂銀座商店街、地域活性化に取り組む団体等をステークホルダーとし、地元の高等学校とも連携して、高砂市の活性化に貢献できることを提案し実行します。高砂銀座商店街を中心にして、地域を活性化させるために、私たちが企画を考え、地域のステークホルダーを巻き込んで実施するプロジェクトです。

## プロジェクトの概要

- 高砂銀座商店街の店舗取材して情報をSNSで発信し、顧客を呼び込むためのPR活動を行う。
- 空き店舗を東播工業高校と協働してリノベーションし、地域のハブにする。



## 高砂銀座商店街の情報発信

高砂銀座商店街で頑張っている店舗取材し、SNSで情報発信し、集客に繋がります。シャッター商店街になっている高砂銀座商店街の中でも、70年間営業を継続し繁盛している商店があります。その秘訣を聞き出して分析することは、他の商店の大きな参考になります。また、空き店舗を活用して起業したシニアにその経緯を聞き、若者目線でSNSで情報発信することで、新たな顧客の開拓に繋がると考えられます。これまで高砂銀座商店街や地域の地図は紙ベースで作られていましたが、コストと利用に限界があります。これをウェブで見ることができるマップを作成することで、遠方からの客を呼び込み、高砂銀座商店街を散策したりレトロやグルメの楽しめる街を目指します。



田中屋模型店での取材



和食「そらまめ」のSNS発信



学生が作成したWeb Map

## 「Fablab (ファブラボ) Takasago」プロジェクト



「Fablab Takasago」は、古民家をリノベーションし、コワーキングスペース(コミュニティの役割も含めた共同の仕事場)にモノづくりを行う場を提供し、さらにそこを地域活性化のハブにしていくプロジェクトです。11月8日、兵庫県立東播工業高等学校建築科の生徒と共に地域活性化キックオフイベントを開催しました。建築科の生徒がデザイン設計を担い、大学生はマーケティングや地域活性化の企画を担当します。

## ふりかえり～教育の成果と学生の成長～

地域活性化に取り組むことは、まず、地域をよく知ることが大切であることと、地域の住民、企業、NPO、商工会議所、市役所等ステークホルダーと連携して進めることがポイントであることを実感しました。知識も経験も十分でない私たちにとって、真摯に一生懸命取り組むことこそが重要であると確信しています。プロジェクトの性質から今年度に限るのではなく、次年度以降長期的に展開していくことが必要であるため、今後の後輩への継承や継続性が重要であると考えています。

プロジェクトは、チームワークがないとできません。役割とスケジュールを決めて、しっかりと自分の持ち場をこなすだけでなく、全体を見渡して全体最適を考えながら取り組む力を育むことが、学生としての大きな成果であると考えられます。ひとから「ありがとう」と言われる仕事のすばらしさを経験できたことは、今後将来の道を選択する分岐点に到来した時の支えになると実感しています。